

北菓楼札幌本館（旧北海道立三岸好太郎美術館）活用事業に係る協定

および「ミギシ・サテライト」事業について

2016.2.10

1 「ミギシ・サテライト」事業について

- 北海道教育委員会と（資）ホリホールディングスは、「北菓楼札幌本館」（札幌市中央区北 1 条西 5 丁目／旧北海道立文書館別館）において美術作品を展示する協定を締結します。この協定は、両者が協力して「北菓楼札幌本館」の建物の歴史的意義を踏まえた文化を発信し、広く道民に還元するものです。
- この協定により、両者は協力して「北菓楼札幌本館」の店内に北海道立三岸好太郎美術館の所蔵作品等を展示する特別コーナーを設置し、「ミギシ・サテライト」として、札幌出身の画家・三岸好太郎と美術館の魅力を広く伝えます（年に数度の展示替え予定）。

2 建物の歴史と協定の経緯

- 旧北海道立文書館別館は、1926 年（大正 15 年）に北海道庁立図書館として竣工した由緒ある建築で、その後北海道立美術館(1967～77 年)、北海道立三岸好太郎美術館(1977～83 年)、北海道立文書館別館(1987～2014)等として道民に親しまれてきました。
- 2014 年に、（資）ホリホールディングスでは旧北海道立文書館別館を北海道から取得し、建物の歴史的価値継承のため、外観の一部を保存して改築・改修をすすめ、「北菓楼札幌本館」として 2016 年 3 月 18 日オープン予定です。
- 美術館として活用された歴史的経緯があることから、北海道立三岸好太郎美術館では、ホリホールディングスに「北菓楼札幌本館」での提携事業の企画を提案、同社も事業の意義に賛同して、このたびの北海道教育委員会との協定締結となったものです。



旧北海道立三岸好太郎美術館
1977 年頃